

天保二年壬辰正月七日

行年三十一歳

瀬川菊之丞

瀬川路考帽子の紫を

浄土の雪にかえて

歌舞の菩薩の数に

入しをいたみはへる

寒梅の

美 姿を

ゆひ綿の

雪の佛に

するぞ

悲しき